

# 緊急事態宣言 全国一斉解除後の 京都府の対応について

令和2年5月27日



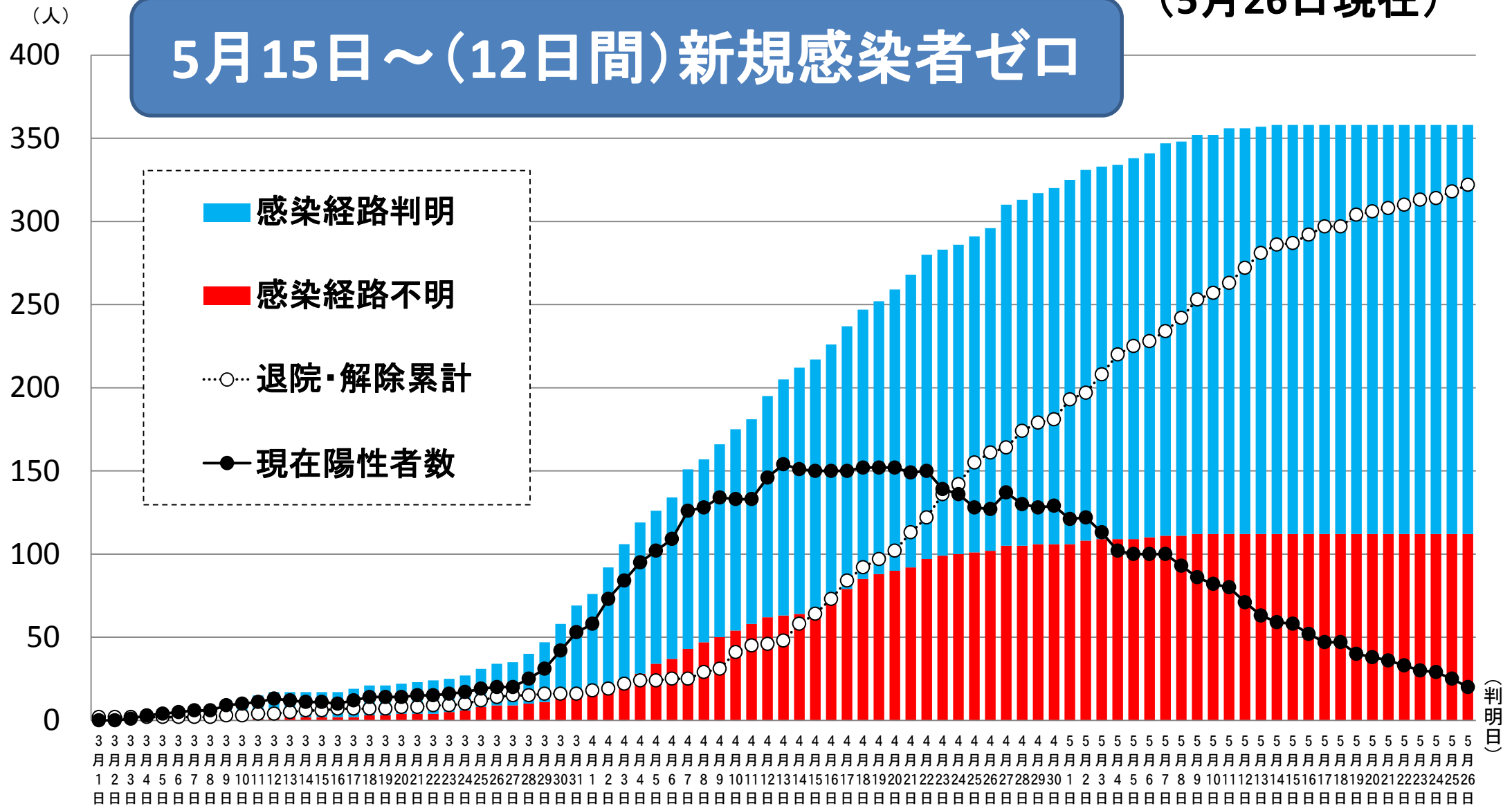
京都府知事 西脇 隆俊



# 京都府の感染者の状況(累計)

(5月26日現在)

5月15日～(12日間)新規感染者ゼロ





# 京都府における基準

指標	緩和判断  (連続7日間・全て)	注意喚起  (全て)	行動自粛  (いずれか)
① 新規陽性者数 (7日間平均)	5名未満	2名以上	5名以上
② ①の前週増加比	/	1以上	2以上※
③ 新規陽性者における 感染経路不明者数 (7日間平均)		1名以上	2名以上
④ PCR検査陽性率 (7日間平均)		/	7%以上
⑤ 重症者病床使用率	20%以上		

※注意喚起基準を満たす場合に限る 3



# 緩和判断基準の達成状況

◆ 直近7日間連続で緩和判断基準をクリア



指標	基準	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日
新規陽性者数	5名 未満	0.14	0	0	0	0	0	0
感染経路 不明者数	2名 未満	0	0	0	0	0	0	0
PCR検査 陽性率	7% 未満	0.1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
重症者 病床使用率	20% 未満	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%



# 国の基本的対処方針改訂







- ▶ 移行期間(5/25~7/31)を設け、概ね3週間ごとに感染状況、感染拡大リスク等を評価
- ▶ 外出等の行動・イベント等の開催・施設の使用についての要請等を段階的に緩和



段階的に社会経済の活動レベルを引き上げ



# 外出等の行動について

期間	府県をまたぐ移動	観光
① 5月25日～	 (継続) ※不要不急の移動は避ける	
② 6月1日～	 ※北海道、埼玉、千葉、東京、 神奈川との移動は慎重に	※観光振興は 京都府内で徐々に
③ 6月19日～		 ※観光振興は府県をまたぐ ものも含め徐々に
④ 7月10日～		※GoToキャンペーンによる 支援(7月下旬)～
【移行期間後】 感染状況を見つつ 8月1日～を目途	全国移動可能	 ※GoToキャンペーンに よる支援

移行期間



# イベント等の開催について

移行期間

期間	コンサート等	展示会等	プロスポーツ等 (全国的移動を伴うもの)
① 5月25日～	○ 100人又は50% (屋外200人)	○ 100人又は50%	×
② 6月19日～	○ 1000人又は50%	○ 1000人又は50%	○ 無観客 (ネット中継等)
③ 7月10日～	○ 5000人又は50%	○ 5000人又は50%	○ 5000人又は50%
【移行期間後】 感染状況を見つつ 8月1日～を目途	○ 50%	○ 50%	○ 50%

※●人：人数上限、50%：定員の半分以内

※「又は」は、小さい方を限度とする



# イベント等の開催について

移行期間

期間	お祭り・野外フェス等	
	全国的・広域的	地域の行事
① 5月25日～	×	△ 100人又は50% (屋外200人) ※特定の地域からの来場を見込み、人数を管理できるものは可
② 6月19日～		○
③ 7月10日～		
<b>【移行期間後】</b> 感染状況を見つつ 8月1日～を目途	△ 十分な間隔 (できれば2m)	※特定の地域からの来場を見込み、人数を管理できるものは可





# 休止の協力依頼を緩和する施設

## ▶これまでにクラスターが発生した施設等

移行期間

① 5月25日～

×

② 6月1日～

○

③ 6月19日～

④ 7月10日～

※業種別ガイドラインの実践など、適切な感染防止策の実施が前提

【移行期間後】  
感染状況を見つつ  
8月1日～を目途

※クラスター発生時は、施設使用制限等の協力要請を検討

※クラスター発生施設等への外出等の行動については、適切な感染防止策が実施されるまでは、避けるよう促す。



# 休止の協力依頼を緩和する施設

## ▶大学

5月28日から

⇒府ガイドラインを参考に、大学ごとに感染拡大予防マニュアルを作成し、適切な感染防止策の実施を前提



# 大学の再開に向けたガイドライン

## 1 学生生活の再開について

### ▶「新しい生活様式」の実践

⇒京都に戻ってきても、いきなり大勢で集まることは控える 等

### ▶学生の広域的な移動を分散

⇒帰省学生が一斉に帰京しないよう対面授業の段階的再開 等

## 2 大学施設の利用について

▶講義室への着席 ⇒ 距離を確保し、対面を避ける

▶図書館 ⇒ 貸出冊数の緩和など、滞在時間が短くなるよう工夫

▶食堂 ⇒ 座席間隔を十分に空け、大声での会話は控える 等

## 3 大学における活動について

▶イベントの開催 ⇒ 感染予防策を最大限に講じた上で開催 等

▶クラブ活動 ⇒ 部室の短時間・少人数利用、換気の徹底 等



# 府民の皆様へのお願い

## 買い物

- ・通販も利用
- ・少人数ですいた時間に
- ・計画をたてて素早く
- ・レジに並ぶ時は前後にスペース



## 娯楽・スポーツ等

- ・公園はすいた時間に
- ・筋トレは自宅で動画を活用
- ・ジョギングは少人数で
- ・予約制を利用しゆったりと



## 公共交通機関の利用

- ・会話は控えめに
- ・混んでいる時間帯は避けて
- ・徒歩や自動車利用も併用



## 食事

- ・屋外空間で気持ちよく
- ・持ち帰りや出前、デリバリーも
- ・大皿は避けて、料理は個々に
- ・対面ではなく横並びで座ろう
- ・料理に集中、おしゃべりは控えめに



『「新しい生活様式」の実践例』より抜粋



# 事業者の皆様へのお願い

## 人との接触を低減する取組の推進

- ▶在宅勤務(テレワーク)、時差出勤等の奨励

## 職場や店舗における対策

- ▶業種ごとに策定される感染拡大予防ガイドラインを踏まえ適切な感染拡大防止対策を実施

